

埼玉県議会議員(大宮区)

No.034号 2024/秋号

藤井たけし

県議会 レポート



日本一地域の絆で結ばれたまち

埼玉県子ども・若者基本条例が全会一致で可決

夢や希望を多くの皆様から託していただきました。埼玉県子ども・若者基本条例(議員条例)が可決されました。

私は昨年(2023)年にも子ども・若者基本条例(議員条例)の責任者として、70を超える有識者や関係団体のほか、子どもから大人まで多くの皆様からいただいたご意見やご要望などをまとめながら、政策の充実・強化を検討してまいりました。

その結果、「子ども・若者の権利が保障され、主体性を持って、自分らしく、健やかに、幸せに成長できる社会」を実現することが重要だと考えるに至りました。同時に、「保護者・養育者、これから養育しようと思う方が、子育てに希望や喜びを感じられる社会」を築くことも極めて重要と考えています。

本条例では、こどもの権利保障の規定のみならず、こども・若者の健やかな成長や、保護者・養育者を支えるための政策も盛り込みました。また、意見聴取のための政策の実効性強化などに加えて、組織体制に横割しを創出し、総合的に施策を推進するための体制整備を規定したことも特徴的と言えます。有識者や関係団体など、多くのみなさんから高い評価をいただくことができました。裏面も併せて

ご覧いただければ幸いです。

委員会審査では、各会派からの質問にすべて私が答弁を担いましたが、過去最多の58問もの質問が寄せられました。長時間の審査を経て、採決では全会派からご賛同をいただくことができました。条例制定に向けてご協力いただいたすべての皆様に、心から感謝申し上げます。

もちろん、条例の可決をゴールとせず、これからこどもの健やかな成長と、保護者・養育者への支援の充実・強化に全力で取り組んでまいります。

2024オリパラが閉幕

パラリンピックが9月8日に閉会し、パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会が閉幕しました。オリンピック、パラリンピックともに本県ゆかりの選手が大活躍し、大きな夢や希望をもたらしてくれました。高まったスपोर्टへの関心、共生社会への思いを未来へと繋げてまいりたいと思います。

これからも「声を力に」「思いを形に」全力で取り組んでまいります。変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



藤井たけし【プロフィール】
 1975(昭和50)年生まれ A型 うさぎ年 日本大学文理学部卒業

埼玉県議会 常任委員会:福祉保健医療委員会委員
 特別委員会:地方創生・行政対策特別委員会委員長

経歴・資格 参議院議員公設第一秘書
 上田清司前埼玉県知事元事務長、清水勇人さいたま市長元政務秘書、サラリーマン、法人代表などを経て埼玉県議会議員(3期目)、大宮南小学校・大宮南中学校元PTA会長、青少年育成会元役員、社会福祉協議会(大宮区)元理事、明日のさいたまを創る会顧問、埼玉県認知症サポーター、さいたま市防災アドバイザー、国会議員政策担当秘書、防災士、2級ファイナンシャル・プランニング技能士

家族:妻、娘 好物:カレー、納豆、辛い物
 好きなこと:読書、運動(サッカー、ラグビー)、
 現在はマラソンとグラウンドゴルフに挑戦中

埼玉県の 窓口キャッシュレス決済の拡充

不便というご意見を多数いただいた少ない決済ブランド。拡充について議会でも取り上げて求めていたところ、10月から拡充となりました。5大ブランドはすべて使えるようになりました。

新たに利用できる決済ブランド。この3社だけで31.4%のシェア

1位	Visa	50.8%
2位	JCB	28%
3位	Mastercard	17.8%
4位	American Express	3.1%
5位	Diners Club	0.3%

バーチャル埼玉 多彩な機能でリニューアル

バーチャル埼玉とは、メタバースの活用による埼玉県の行政サービスです。昨年11月から試行的に運用をはじめましたが新たに機能を追加しました。ぜひご活用ください。

- 1 エントランス
- 2 アリーナ
- 3 高齢リブースエリア
- 4 出展エリア
- 5 産産エリア
- 6 アドベンチャーエリア
- 7 アウトドアエリア

例えば「相談エリア」では…若者自立支援、不登校児童生徒支援事業、メタバース婚活イベント、性的マイノリティ相談、バーチャルユースセンター、困難を抱える女性の相談、ヤングケアラーサロンなど対面で相談するには抵抗を感じる方も、オンラインで気軽に相談できる部屋を用意。

夏祭りにおける「警備」強化

昨年、祭りの主催者等から、「コロナ前は警察が担ってくれていた警備を、自主警備への変更や時間短縮を求められた」などのご意見が多数寄せられました。そのため、警察本部への要望を行い、議会での質疑も行った結果、「今年は大幅に改善してくれた」という感謝の声を多くいただきました。

お祭りは、日本の心であり、伝統でもあり、地域の絆づくりに欠かせないものです。警察の取組はもちろん、皆様のご協力のおかげで、警備体制が改善されたことに感謝いたします。

一般会計補正予算約88億円

県議会の9月定例会で補正予算が可決されました。以下が主な内容です。

- ① 特別支援学校に通学する医療的ケア児の通学支援の充実
- ② 新生児マススクリーニング検査の対象拡大
- ③ 衆議院選挙関連経費 など

将来を担う責任！挑戦する勇氣！

日本一地域の絆で結ばれたまち

こども・若者基本条例成立

この条例に趣旨に基づき、子育て・子育てに関する総合的かつ計画的に推進するための「埼玉県こども計画」が策定されます。条例は施策の方向性を示しており、様々な取組のより一層の充実・強化に繋がります。各条文の趣旨、対応する施策などの説明資料は後日あらためてインターネットなどで公表いたします。



条例全文はこちらから

埼玉県こども・若者基本条例（骨子案）の各条のポイント

- ◎目的（1条）、基本理念（3条）、責務・役割規定（4～9条） 規定表（2条）は省略
 - 1条 **こども・若者が有する権利を保障**し、こども・若者が主体性を持って、自分らしく健やかに幸せに成長することができるとともに、保護者・養育者等も子育て・子育てに希望や喜びを感じ、幸せに過ごすことができる社会の実現を目指すことを規定
 - 3条 こども・若者について、個人として尊重され、基本的人権が保障され、差別的取扱いを受けないようにするとともに、意見を表明する権利などのこども・若者が有する権利の保障を規定し、**社会全体で子育て・子育てを支えていくことを規定**
 - 4～9条 基本理念を踏まえ、県の責務、保護者・養育者、学校・園等、事業者、民間支援団体、県民の役割を規定
- ◎こども計画（10条）、体制整備（11条）、意見聴取（12条）、情報提供（13条）、理解促進（14条）
 - 10条 計画策定段階から、こども・若者を含めた県民の多様な意見を聴取・反映
施策実施後には、実施状況を検証するとともに、その結果を議会に報告し、公表
 - 11条 県において**横断的・一体的に連携した実施体制**、相談体制、関係機関及び民間支援団体等の有機的な連携等の整備
 - 12条 施策の策定・実施・評価にあたり、こども・若者、保護者・養育者等からの**意見聴取**、こども・若者等の意見を表明を支援する人材の育成確保
 - 13条 こども・若者の視点に立ったわかりやすい情報提供
 - 14条 こども・若者が自ら有する権利に関心を持ち、理解できるとともに、権利が侵害された場合の対処方法を学ぶことができることを規定 など
- ◎安全・安心確保（15条）、居場所づくり（16条）、心身の発達成長（17条）、主体的な学び（18条）、保護者・養育者支援（19条）
 - 15条 こども・若者の**安心・安全の確保**と、犯罪、事故、性暴力、虐待、貧困、いじめ、体罰等の危害から守るために必要な施策 など
 - 16条 こども・若者のための多様な**居場所づくり**の推進と、居場所づくりへのこども・若者の意見表明・参画
 - 17条 こども・若者の**心身の成長・発達のための環境整備**と、特に性の問題について、こども・若者の年齢・発達程度に応じた支援を規定
 - 18条 こども・若者の興味・関心に応じて**主体的に学ぶことができる機会の確保**、体験・遊びを通じた質の高い教育・保育、自然・社会・職業・文化芸術体験への参加、キャリアコンサルティング、就業機会の確保の支援等に関する必要な施策の実施
 - 19条 **保護者・養育者等への好時期・出産期・子育て期の各段階に応じた切れ目ない支援**、雇用環境・住環境等の整備、ひとり親支援 など
- ◎財政措置（20条） 20条 施策を推進するための財政上の措置等を講ずることを規定

「こどもまんなか社会」の実現に向けた数値目標（一部抜粋）

項目	目標	現状
「こどもまんなか社会の実現に向かって」と思う人の割合	70%	15.7%
「こども政策に関して自分の意見が聞いてもらえている」と思うこども・若者の割合	70%	20.3%
「自国の将来は明るい」と思うこども・若者の割合	55%	31.0%
「結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かって」と思う人の割合	70%	27.8%
「どこかに助けしてくれる人がいる」と思うこども・若者の割合	現状維持	97.1%

こども若者条例を提案

議員団 社会全体で支える

議員団は、こども・若者の権利を保障し、安心して暮らせる社会の実現に向けて、こども・若者基本条例の制定を提案いたします。この条例は、こども・若者の権利を保障し、社会全体で子育て・子育てを支えていくことを目指しています。また、こども・若者の意見を聴取し、施策の実施に反映させるための体制を整備することを目指しています。

Topic

世界一しあわせな動物「クオッカ」に会いに行こう!

キュッと上がった口角で、笑っているように見えるため「世界一しあわせな動物」と呼ばれています。クオッカが見られるのは、生息地のオーストラリアを除けば、ドイツと日本だけ。日本でクオッカに会えるのは、「埼玉県こども動物自然公園」（東松山市）だけです。ぜひお出かけください!

埼玉新聞・10月8日付

見沼代用水の管理道路の重大な問題点

見沼代用水は、徳川吉宗將軍の時代に整備され、令和元年には「世界かんがい施設遺産」として登録されました。現在でも農業用水を供給するために、「水資源機構」等が管理しています。昭和54年頃からコンクリート構造となり、管理用道路もあわせて整備されました。管理道路の整備にあたっては、協定が締結されており、水資源機構が道路を舗装し、その後の管理は市町が担うという内容です。しかし、その協定は財政上の負担を理由に、一部の市が履行せず、約40年放置されています。管理道路といえども、実際には市道のように使用されているにもかかわらず、「水資源機構」等が管理し、それは農業従事者等が維持管理費の一部を負担し続けていることを意味します。

市民目線であれば、除草や補修などの管理が行き届いていない危ない道路であり、農業従事者目線では、市道として使用されている道路にお金を払い続けている不毛な状況と言えます。もし仮に裁判になれば、市側が敗訴するとの見方もあります。

6月定例会の一般質問で、市側に協定を履行させるよう指摘し、県農林部長からは、「協定の履行に向けて働き掛ける」との答弁がありました。現在、維持管理の現状把握と今後の対応についての協議がスタートしました。

令和6年6月定例会
藤井健志 一般質問「見沼代用水の管理道路について」

photo report



▲第二産業道路建設促進期成同盟会



▲今年で2回目のシェイクアウト埼玉（訓練の様子、市長との連携協議）



▲防犯のまちづくりキャンペーン



▲こども・若者基本条例の委員会審査



▲赤い羽根共同募金。大宮駅西口にて



▲NACK5スタジアムの防災フェスタでゲスト出演



▲御巣山事故の教訓を伝える羽田空港「安全啓発センター」を視察



▲バレーボール大会の特別試合に参戦



▲看護協会の皆さんに「こどもまんなかPT」の取組報告

将来を担う責任！挑戦する勇氣！

埼玉県議会議員(大宮区)

No.035号 2025/新春号

藤井たけし

県議会 レポート



日本一地域の絆で結ばれたまち



藤井たけし[プロフィール]

1975(昭和50)年生まれ A型 うさぎ年 日本大学文理学部卒業

埼玉県議会 常任委員会:福祉保健医療委員会委員
特別委員会:地方創生・行政対策特別委員会委員長

経歴・資格 参議院議員公設第一秘書

上田清司前埼玉県知事元事務局長、清水勇人さいたま市長元政務秘書、サラリーマン、法人代表などを経て埼玉県議会議員(3期目)、大宮南小学校・大宮南中学校元PTA会長、青少年育成会元役員、社会福祉協議会(大宮区)元理事、明日のさいたまを創る会顧問、埼玉県認知症サポーター、さいたま市防災アドバイザー、国会議員政策担当秘書、防災士、2級ファイナンシャル・プランニング技能士

家族:妻、娘 好物:カレー、納豆、辛い物
好きなこと:読書、運動(サッカー、ラグビー)、
現在はマラソンとグラウンドゴルフに挑戦中



順天堂大学が800床の 病院整備計画を中止

人口10万人あたりの医師数が180.2人と全国で最も少ない埼玉県。特に、

順天堂大学が、さいたま市に800床の病院を整備する計画を発表した。しかし、地元住民からは「騒音」「交通渋滞」などの懸念が湧き、計画は中止された。藤井議員は、地元住民の声を代弁し、計画の中止を求めた。また、本県でも埼玉県戦略会議を開催し、県内経済の実情、価格転嫁に向けた取組などについて協議し、これらを踏まえ、エネルギー価格や物価高騰に対応したきめ細かい施策を検討し、社会経済活動の活性化に向けて速やかに取り組んでまいります。

「声を力に」「思いを形に」これからも全力で取り組んでまいります。変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

皆様におかれましては、新年を穏やかに迎えたいとお慶び申し上げます。日頃より藤井健志の諸活動にあたたかいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

長きにわたったコストカット型経済から脱却し、賃金上昇が物価上昇を上回る経済の実現を確実なものとするため、国の総合経済対策では「日本経済・地方経済の成長」、「物価高の克服」、「国民の安心・安全の確保」の3本の柱を掲げるとともに、実行にかかる国の補正予算が昨年末に成立いたしました。また、本県でも埼玉県戦略会議を開催し、県内経済の実情、価格転嫁に向けた取組などについて協議し、これらを踏まえ、エネルギー価格や物価高騰に対応したきめ細かい施策を検討し、社会経済活動の活性化に向けて速やかに取り組んでまいります。

医師の地域偏在や診療科偏在の解消が重要なことから、偏在是正のための医師派遣を重要な目的として平成26年から取り組んできた本県の重要施策です。しかし、これまで、大学側からの度重なる計画変更や、県の財政負担に見合った医師派遣履行への懸念があったことから、私も3年前の議会において大学側との協議の在り方について知事に苦言を申し上げたことがありますが、この度の一方的な中止の発表に驚くばかりです。この計画中止に伴い12月定例会では、これらを見据えて、代替の医師不足解消策、病院予定地の活用策、800床の今後の取り扱い、再発防止策などについて協議いたしました。安心と安全の医療提供体制の構築にむけて全力で取り組んでまいります。

一般会計補正予算9億5707万円

- 防災拠点校の体育館における避難者の生活環境の改善
- 公共事業等の施工時期の平準化・適正工期の確保
- 県有施設等における光熱費高騰への対策 など

議員政策提案条例が2本成立

- 埼玉県拉致問題等の早期解決に向けた施策の推進に関する条例
- 埼玉県中小企業制度融資の損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例



埼玉県手数料条例などの改正

- バスパス発給手数料の改定(オンライン申請が低額へ)
 - ・マイナポータルで24時間申請可能
 - ・戸籍簿本の提出が不要(令和7年3月から)など
- 令和7年から運転免許証とマイナンバーカード一体化(マイナ免許証)
 - ・免許更新時にオンラインでの講習受講が可能に(優良・一般運転者のみ)など



…実はすごい! 埼玉の日本酒…

埼玉県は多様な31の酒蔵があり、なんと日本酒出荷量は、実は全国4位。一位:兵庫県、二位:京都府、三位:新潟県、四位:埼玉県
令和6年12月に、日本の伝統的造りがユネスコの無形文化遺産に登録されました。世界的に注目されている日本酒を埼玉県としてもPRするため、特設ホームページでその魅力を発信しています。



埼玉はうどん共和国

埼玉の日本酒

祭

これか埼玉の花畑!

特設ホームページ「ちよこたび埼玉」はこちらから。
埼玉県の日本酒ほか、うどん、祭、花畑特集など、本県の魅力を発信しているサイトなので、ぜひ一度ご覧ください



将来を担う責任! 挑戦する勇氣!

大宮公園陸上競技場兼双輪場のあり方は…

大宮公園では再整備計画の策定を進めていますが、双輪場の方向性が決まらないことが、再整備計画の阻害要因とも言われておりました。有識者による競輪事業検討委員会の議論を経て、競輪事業を所管する県の総務部から行政報告がありました。

競輪事業検討委員会の意見を踏まえた総務部の検討状況

- ①埼玉県競輪事業は、西武園競輪場との2場体制を継続する。
- ②大宮双輪場の建替え場所は、現在地の大宮第一公園を基本とするが、大宮第二公園も選択肢とする。
- ③建替え後の施設は、競輪も開催できる多目的なものとし、大宮公園の賑わい創出に貢献する。



議会からの主な意見

- ①入場者数の激減や売上のほとんどがネットに置き換わっている点を考慮すると、建替え場所は立地性の良い第一公園以外での検討が合理的。
- ②「双輪場の使用期限の明確化」や「民間資金・ノウハウを活用した施設整備」の検討が不十分。など



令和6年6月定例会

藤井一般質問より

人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)について

<藤井の質問>

30年ほど前に亡くなった祖母は晩年、特別養護老人ホームに入所していたが、転倒により命にかかわる大怪我を負って入院。祖母には、顔や体中に管のようなものが装着されており、いわゆる延命治療がほどこされていた。意識があった祖母は、わたしに「早く死なせてほしい。」と何度も懇願し、その悲しくもつらい記憶ははまだ強烈に残っている。

本人が生きていることを望まず、一方で、莫大な医療費がかかり、両親や親戚の仲もぎくしゃくし、誰も幸せではなかった。

人生会議は、もしもの時のために、本人が望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組。

自分自身の経験を踏まえると、人生会議の普及啓発や取組が大きくなってほしい。しかし、昨年の厚労省の発表によれば、人生会議について「よく知っている」は、医師でも半数に満たない現状がある。埼玉県政世論調査によれば、「知らない」と回答した県民は、87.2%。認知がより一層進むよう取組を強化するべき。(要旨)

<保健医療部長の答弁>

関係機関と緊密に連携を図りながら、更なる普及を図っていく。(要旨)

<解説>

このほか、人生の最終段階における医療提供体制の整備についても取り上げました。人生の終わりをどのように迎えるかは、本人や家族のQOL(人生や生活の質)とともに、医療費等にもかかわる超重要なテーマ。にもかかわらず、国も県も取組が極めて弱いです。ようやく2040年を見据えた医療提供体制の議論が開始されましたが、しっかりと注視していきたいと思います。

人生会議

さあ、始めよう!

人生会議

最期まで自分らしく暮らし続けるために人生会議(ACP)を始めよう



「命」の危険が迫った状態になると、約70%の人が自分の望む医療やケアについて決めたり、希望を人に伝えたりすることが難しくなるといわれています。

▶ あなたが望む医療やケア、周りに伝えていますか。

障害児・者や要介護者等への歯科診療について

【12月定例会 福祉保健医療委員会 所管事務調査*】

障害児・者や要介護のご高齢者などは、一般の歯科診療所では治療が困難なケースが多く、在宅歯科診療や専門の歯科診療施設の充実が必要です。

県などの責務と法で定められている専門の歯科診療施設の充実について、現状を調査の上、取り上げました。紙面の関係上、データも含め概要のみの記載です。取組も答弁も不十分。今後も注視してまいります。

施設名	患者数 (R5年度)	平均待機期間		
		初診	再診	麻酔
1. 埼玉県口腔保健センター	約6千人	2か月	4か月	8か月
2. 埼玉県総合リハビリテーションセンター	約5千人	3週間	1か月	1か月半
3. 嵐山郡障害者歯科診療所	約5千人	2か月	2か月	3か月
4. 松光園障害者歯科診療所	約5千人	4か月	4か月	5か月
5. そうか光生園障害者歯科診療所	約3千人	2週間	2週間	3か月
6. あさか向陽園障害者歯科診療所	約3千人	3か月	3か月	6か月

藤井の主な指摘

- ①平均待機時間が極めて長く、ニーズに対応が追いついていない。
- ②ニーズは今後、増大が見込まれる。調査の上、必要な施策を進めるべき。
- ③表の2以降は県立で県が満沢にコスト負担している一方、歯科医師会設置の1.「埼玉県口腔保健センター」は県の負担が極めて少なく(2以降の県立と比較して1/10程度の負担)、3000万円以上の赤字。問題ではないか。

執行部の主な答弁

- ①期間の改善が図れないか検討することが必要と認識している。
- ②ニーズ調査を実施していない。把握の方法については関係者に意見を聞く。
- ③県歯科医師会の負担について認識を新たにした。申し訳なく県歯科医師会と協議する。

*所管事務調査とは、県から提案された予算案や条例案などの議案とは別に、政策提言などを目的に議会が自主的に実施する調査。

photo report



▲SAITAMA子育て応援フェスタにて



▲メタバス活用へ議論。マスコミにも取り上げられました



▲大宮公園の塗装ボランティア。彩青会のみなさんの取組に感謝



▲地方創生行政財対策特別委員長としてテレビ出演



▲寒い季節でも心はいつもホットです(笑)。朝の駅頭にて



▲レッドブル・ジャパンのマリオ社長と



▲ふくしま医療機器開発支援センター視察



▲茨城県高次脳機能障害支援センター視察



▲エスカレーターの安全な利用キャンペーン。駅長さんたちと



▲知事と議会による防犯まちづくりキャンペーン

日本一地域の絆で結ばれたまち

将来を担う責任！挑戦する勇氣！

能登地震の被災地
ボランティア支援に
珠洲市でトイレカーの
清掃を行い実情を伺う

埼玉県議会

閉塞感を打ち破り、希望溢れる埼玉を創る

細田よしのり



税金のムダづかい許さぬ

これまでに140億円の節約を実現!

県政報告 アルカンシエル

液状化の被害で
通水もままならない



※プライバシー保護で被災
家屋等の掲載は控えますが
解体工事も進んでいません

被災地域
のご意見を
伺いました



ファーストペンギンの精神

古い政治を改革しよう!



The First Penguin

リスクを恐れず最初に荒波へ飛び込むペンギン
前例踏襲を止めて政治の停滞を打破します!

2024 Vol.40

WEB <http://hosodayoshinori.jp> mail@hosodayoshinori.sakura.ne.jp

略歴 昭和58年3月18日戸田市生まれ育ち
戸田市立新曾小・中、日大豊山高、日本大学卒業後、渡米
オハイオ州 ケント州立大学院 Master of Technology修了
山東昭子参議公設秘書、会社勤務を経て公募で県議3期
1期目、戸田かけはし高等特別支援学校設置を提案、実現
2期目、水道がおいしくなる浄水場高度処理採用決定
財政委員長時、PCR費42億円、県事業廃止・縮小55億円削減!

困ったことがあるのだけど、LINE・ショートメールで送るね!

まちの困りごとの原因は、国・県・市・民間いろいろなケースがあります。
時にたらい回しにされることも。細田が所管を明確にして改善させます!



空からハンガー
が降ってきたよ!

電信柱の上にカラスが巣を作っているよ!

調査したら、これは東京電力管理のもので、
早期対応、撤去作業を要請しました!

最近漕艇場の水質悪くないかな?

1月に漕艇場の水質検査に立ち会いました。
透明度は1メートルほどで、水質は問題ありま
せんでした。調査中にふと見ると、4レーンの看
板のボルトが外れて落ちそうなのに気づきまし
た。早急に補修と全ての看板の検査確認をする
ように公園事務所に指示し、修繕済みです。



もし選手に落下
していたら。。。
事故寸前で修繕

漕艇場の水質検査に立ち会った最中
落下しそうな看板を発見し修繕



ボルトが数本抜けている

近所に散らかったままの家があって困るよ!

調査したところ、業者が資材置き場として利用して
おり、行政から改善を申し入れました。そういった
置き場(ヤード)が他県から埼玉に流入している
問題があり、現在埼玉には自動車部品等の保管
に独自の規制がありますが、その他の物の保管に
も規制の追加ができないか検討しています!

置き場(ヤード)のイメージ
戸田市の場合、一軒家や駐車場
が置き場にされていることが多い



ご相談はLINE
または
080-6511-0080
で承ります。

TOP NEWS



**細田よしのりの提言が
令和6年度予算に多数採用され実現へ!**

**こども医療費 18歳までの通院も無償化へ向けて
長年訴え続けた政策改善、やっと県を動かすことができました!**

拡充 子育て家庭への経済的支援 **所得制限なし!**
37億6,910万4千円

◆ こども医療費助成制度の拡充

・補助対象年齢の拡大、**所得制限の撤廃**

➢ 県の補助対象拡大により、各市町村の様々な子育て支援を後押し

区分	補助対象	
	(現在)	(拡充後)
通院・入院	就学前	小3・中3まで
所得制限	あり	なし

令和4年から埼玉県内どこの医療機関でも窓口無償化になったのも細田の実績です。



**他都県には当たり前なのに
埼玉県になかった...
屋内50mプールが
ついにお隣川口に新設決定!**

令和9年度開業予定(屋内50m水泳場イメージ)

**空調なしでは勉強がはかどらない!
特別支援学校や県立高校の
エアコン充実を! 9億8646万円**

令和6年度以降の工事計画の前倒し
特別支援学校の空調設備改修工事 4校

老朽化した空調を更新することで熱中症等の危険が低減
児童生徒の安全で快適な学習環境の確保



**高齢者医療・介護支援は
世代間抗争の具ではなく
全ての世代の未来に必要な
社会インフラです。**



中腰が多い
介護職へ
支援ロボット
HALなど
導入支援も

**能登・台湾地震へ
沢山のご寄付ご厚志賜り
ありがとうございました**



能登半島地震 884,680円
(日本赤十字社を通じて)

台湾東部地震 198,084円
(大使館にあたる台北駐日経済文化代表処へ)

細田の提言 能登~台湾地震を受け 激甚化・頻発化する自然災害へ備えを!

災害対応力の底上げと自然災害・新たな感染症への備え 131億8982万円

- ・災害対応力強化 新たなシナリオの作成及び図上訓練
- ・ドローンを活用した発災初期の情報収集力の強化
- ・ジェンダー視点による避難所開設運営の強化



**阪神淡路大震災追悼
行事に出席しました**



流域治水で水害ゼロへ 笹目川、菖蒲川、緑川さらなる強化を

- ・洪水予報河川拡大と水位予測モデル構築
- ・道路整備における雨水貯留施設設置等
- ・道路冠水箇所の対策



細田の提言、笹目川のポンプを30トン/秒から50トンへ増量
計画が進んでいるとともに、地盤沈下で市内の川の堤防高さが
低くなっていたので今年度予算でかさ上げ工事をしています!
台風の前にポート場の水をもっと抜く細田プランも進行中!

行政へのご意見、ご要望は

細田よしのり県政調査事務所

埼玉県を良くする
アンケートのお願い

〒335 0027 戸田市氷川町 1-14-17

TEL: 080-6511-0080 FAX: 048-611-7110

mail@hosodayoshinori.sakura.ne.jp

発行 埼玉県議会 自由民主党議員団



こどもたちの自転車教室で
ボランティア 安全に楽しくね

子育て真っ最中 3児の父

細田よしのり



2度目の被災地能登入り
能登町災害ボランティア
センターに登録し軽トラ
で民家の土砂を運び出す

税金のムダづかい許さぬ

これまでに140億円の節約を実現!

県政報告 アルカンシエル

ファーストペンギンの精神
古い政治を改革しよう!



The First Penguin

リスクを恐れず最初に荒波へ飛び込むペンギン
前例踏襲を止めて政治の停滞を打破します!

2024 Vol.41

WEB <http://hosodayoshinori.jp> mail hosodayoshinori.sakura.ne.jp

埼玉県の大変なパートナー
台湾の頼総統と会談

略歴 昭和58年3月18日戸田市生まれ育ち
戸田市立新曾小・中、日大豊山高、日本大学卒業後、渡米
オハイオ州 ケント州立大学院 Master of Technology修了
山東昭子参議公設秘書、会社勤務を経て公募で県議3期
1期目、戸田かけはし高等特別支援学校設置を提案、実現
2期目、水道がおいしくなる浄水場高度処理採用決定
財政委員長時、PCR費42億円、県事業廃止・縮小55億円削減!

第3子は女の子を
授かりました

台風予報を見ると令和元年を思い出して不安。対策を進めて

細田がボートコースの水位を事前により下げることが訴え、今年は
20cm放流して備えました。さらに放流量upし50cm下げるため工事を!

台風が近づいてきたら注意!

予備放流を実施します

台風等が近づくとボートコースの水位を下げて
浸水被害の軽減を図る「予備放流」を実施します。
※水中や水面の施設が普段とは違う状態になり危険です。
予備放流後は水面を利用しないでください。



河川の水位等は「埼玉県川の防災情報」で
ご確認ください。 ※APIは河川水位等に使用する基準高さ

お問い合わせ先
公園利用に関すること・・・戸田公園管理事務所
TEL: 048-442-2424
mail: toda@parks.or.jp

予備放流の取組に関すること・・・さいたま県土整備事務所
芝川改修事業担当 TEL: 048-861-2497
mail: p612495f@pref.saitama.lg.jp

細田の水害ゼロプロジェクト

50cm下げられれば、
10万^m (立方メートル)の水が
貯められるダム機能が出現

笹目川ポンプ能力を30トン/秒から50トン/秒へ
1.5倍へ増強する計画が、
細田の令和4年の提言から動き出し
国の計画を見直す方向に

計画の変更には、国土交通省との折
衝というカベがありますが、
石井啓一衆議院議員(元国交大臣)
田中良生衆議院議員(元国交副大臣)

の二人には、笹目橋の土手を低くなっ
ていた場所のかさあげ工事を陳情し、
2019年に完成した関係があり、今回
の件でも協力いただきます。

ボートコースを
ダムのように使え!

ポンプで荒川に
水をはきだせ!

笹目川排水機場全景





189-3
自民党

令和7年 新春号

埼玉県議会
自民党議員団所属

埼玉県議会議員 南19区 (蕨市)

- 産業労働企業委員会 委員
- 自然再生・循環社会対策特別委員会 委員

ほやたけし ニュース



保谷武 活動ブログをご覧ください ▶▶▶▶▶

<http://www.hoyatakeshi.com/blog/> <https://facebook.com/hoyatakeshi2/>



速報

県議会 令和6年12月定例会にて一般質問 スマートシュリンク埼玉2050を提言

令和6年12月10日、蕨市を代表して一般質問を行い、多岐に渡り知事・県各部署に対して要望・提案を行いました。



効率的で持続可能なスマートシュリンク埼玉2050に向けて

今後ますます人口減少・少子高齢化が進み、税収が減ります。従来の都市インフラ・公共サービスの質と規模を維持することは不可能となります。公共交通は維持困難となり、治安は悪化し、生活の質は低下していきます。そこで私は、**スマートシュリンク埼玉2050**と名付けた一連の私的政策案シリーズを発表してまいります。今回は第一弾と第二弾です。生活利便性、都市インフラ・公共サービスの質、地域コミュニティを維持しながら、**都市機能を集約し、環境負荷を低減した、効率的で持続可能な埼玉県**を目指します。

スマートシュリンク埼玉2050

小中学校統廃合の支援を

保谷質問

生徒数が減少する中で、質の高い教育を維持するためには、小中学校統廃合は避けて通れない。最大の障壁は、**地域住民との合意形成**だ。子どもたちへの影響が心配だし、学校は地域の中心であり、地域住民の心の拠り所だからだ。私の調査によると、**合意形成にはおおむね10年間**かかる。

高度経済成長期に建設された校舎の老朽化も深刻だ。今後10~20年後には一斉に寿命を迎える。校舎・施設の除却(取り壊し)も視野に入れるならば、その10年前には学校統廃合の準備を始めねばならない。

県として、教育効果の向上などを客観的なデータに基づいて示し、最適な計画の策定などのコンサルティング機能を市町村に対して提供してほしい。

教育長答弁

市町村が主体となるものだが、県が市町村に適切な支援を行うことは重要だ。事例集を作成して、各市町村教育委員会に周知している。統廃合までのスケジュール作成、地域住民との合意形成までの道筋などについて助言することで、市町村の課題に寄り添った支援をしていきたい。

保谷質問

市町村からだけではなく、地域住民から直接相談を受けることもあるだろうが、対応してほしい。

教育長答弁

そのような場合も含めて相談に乗ってまいります。



学校統廃合は誰にとっても嫌なものです。質の高い教育を維持することが最優先のほうです。

キレイな空き家対策の強化を

保谷質問

人口減少にもかかわらず、依然として新築住宅は建ち続け、住宅・マンションが余ってきている。いわゆる**老朽空き家**については、法整備が進み、解決の道筋がつけられている。対策が為されていないのが、「老いた両親がお亡くなりになった実家を、別の場所に既に生活の拠点を構えている息子娘世代が相続した後、庭の草刈り、掃除などの最低限のメンテナンスを施しつつも、思い出や遺品が残っているといた理由で貸し出したり売り出したりせず、空き家のまま放置しているケース」だ。私は**キレイな空き家**と名付けている。機会損失が生じているし、防火・防犯面でも問題がある。

キレイな空き家を貸し出したり売り出したりするように、所有者、不動産業界に促してはどうか。

ほやたけし ニュース 速報

都市整備部長答弁

埼玉県空き家対策連絡会議、相続おしかけ講座、空き家バンクの紹介など、市町村への支援を通じて、キレイな空き家の抑制に取り組んでいる。



家は生き物。手入れしてあっても、誰も住んでいなければ、少しずつ劣化していきます。

保谷コメント

増加の抑制にとどまらず、現状よりも削減を目指してほしい。

国際交流政策と在住外国人政策(=いわゆる多文化共生策)の切り離しを

保谷質問

まず初めに、私には外国人に対する差別やヘイトの考えは無いことを宣言する。

近年、**日本人住民と外国人住民との間の緊張感が高まっている。**

国際交流政策は、旅行、留学、お互いの国の料理を食べたりお酒を飲んだりといった、国と国との友好関係を深めるための政策。楽しく非日常的なものだ。

在住外国人政策は、日本国在住外国人住民に対して、私たち日本国在住日本人住民がどのように接し、支援していくかという政策。大変で日常的なものだ。支援の過程で相手の母語、母国の文化を学ぶことはあるかもしれないが、本質的には一方向のものだ。

埼玉県においては、この2つの本来区別して扱うべき全く別のモノが、同一のものとして扱われてしまっている。

在住外国人についての議論は、SNSのアルゴリズムの影響で、偏った意見が増幅され極端な議論に流れやすく、差別・ヘイトを生み出しやすい。



答弁する堀光副知事

国際交流政策と在住外国人政策を切り離した上で、冷静な議論の環境を整えるべきだ。

副知事答弁

国際交流政策と在住外国人政策を混同すべきではないという点は同意するが、両者には共通する面もあると考える。在住外国人を、共に社会を支える担い手と捉えている。

保谷質問

多文化共生推進会議の人選について。

在住外国人の意見を聞いた上で政策に反映するのは当然のことだ。しかし、在住外国人の代表に政策決定過程への参画を求め、責任を背負わせるのは筋が通らないのではないかと。

副知事答弁

多文化共生推進会議は、意見を聞く場に過ぎない。



世界中のすべての人が、あたかも一つの家の屋根の下で暮らしているかのように、平和で穏やかな社会を作っていきたいですね。

鉄道駅ホームドア設置の更なるスピードアップを

保谷質問

ホームドアは、バリアフリーという観点からだけではなく、自殺対策としても有効だ。工事は時間もお金もかかり大変なものだが(蕨駅の場合工期は2年間、費用は12億円)、広く社会全体で費用負担していこうというコンセンサスが既に確立している。ホームドア設置をスピードアップしてほしい。

副知事答弁

令和2年度から、県補助の対象を、一日あたり乗降客数「10万人以上」から「1万人以上」と拡大したところだ。更なるスピードアップに向けて、鉄道事業者を後押ししていく。



蕨駅のホームドア

県議会 令和6年12月 定例会にて一般質問 しました！

埼玉県DXを通じた 新たな価値の創出について

保谷質問

県はDXに力を入れているが、単なるデジタル化にとどまっていることも多い。例えば、運転免許手続きにおける証紙廃止・キャッシュレス化は、単なる決済手段のデジタル化に過ぎない。不便になったと不満を言う人も多いのが現状だ。

運転免許更新が、申請～講習～視力検査～写真撮影～新しい免許証の受取まですべてオンラインで完結すれば、ユーザはわざわざ鴻巣や警察署に行く必要がなくなり、仕事や学校を半日休む必要がなくなるという、新たな価値が生み出される。



昨年5月にオープンした岩槻高齢者講習センター。支払いはキャッシュレス決済のみで、現金は使用できません。単なるデジタル化だけではなく、画期的な付加価値の提供を！

DX成功のポイントは、圧倒的なめくるめくユーザ体験の提供、一度味わったら戻れないくらい画期的な付加価値の創出、短期間で一気に進めること、抵抗勢力がいても負けずに強い意志を貫いて実行すること、だ。

知事答弁

ゆっくり進めるつもりはないが、段階的に進めていきたい。

親戚づきあいが薄いおひとり様高齢者の増加に備えた支援策を

保谷質問

増え続けるおひとり様高齢者は、

- (1)賃貸住宅の入居審査
- (2)認知症発症時のサポート
- (3)死後の遺産・家財(価値がないものも含めて)の処分



おひとり様高齢者に寄り添ったサービスを。

といった課題に直面している。今後、民間サービスが充実していくことになるが、行政の支援も不可欠だ。それぞれの対応は。

(1)賃貸住宅の入居審査

都市整備部長答弁

住宅セーフティネット制度が国によって整備され、県も周知に力を入れている。

保谷コメント

住宅セーフティネットはまだ有効に機能しているとは言い難いではないか。

(2)認知症発症時のサポート

福祉部長答弁

認知症者への対応は、早期発見、早期対応が大切だ。見守りネットワークを造り、地域包括支援センターへ繋ぐ仕組みを整えている。

(3)死後の遺産・家財(価値がないものも含めて)の処分

福祉部長答弁

成年後見制度を活用しやすいような仕組み作りに取り組んでいる。

保谷コメント

その制度は、生前の備えのためのものだ。十分な備えが来ずに死を迎えてしまうおひとり様高齢者向けの死後の取り組みについても進めてほしい。

2月の予算特別委員会、10月の決算特別委員会でも 私が主張した、この要望が実現！

単なる統計上の数字の向上だけではなく、県民の安心にリンクした警察活動・防犯対策が進むことを期待します！

警察本部長答弁

たしかに、刑法犯認知件数だけでは、治安の善し悪しを把握することは難しい。

副知事答弁

ご指摘の通り、次期埼玉県防犯のまちづくり推進計画(令和7～11年度)では、体感治安を測る指標を開発して、県民の安心感を高める取り組みを進めたい。



埼玉新聞 令和6年12月11日
[体感治安の新指標検討]

体感治安の定量的指標を 新たに開発して、改善していこう

保谷質問

治安の善し悪しを示す指標として刑法犯認知件数があるが、これは必ずしも住民が感じる安心、体感治安とはリンクしていない。一件でも大きな犯罪が起ると、住民の不安は高まる。実際に犯罪が発生していなくても、街を歩いていて何となくこの地域はガラが悪いと感じることもある。体感治安を示す定量的指標を開発して、これを防犯対策に活かしてはどうか。

公共調達（県による物品・サービスの入札、購買）について

(1) 公共調達を通じた県内事業者育成

保谷質問

「安ければ安いほど良い」という価格至上主義ではなく、県内事業者の育成という視点が重要だ。（値段が高くても）県内事業者から調達することで、雇用創出、技術革新、地域活性化、税収増に繋がる。

産業労働部長答弁

県内中小企業でできることは、県内中小企業に発注することを基本としている。県内中小企業への発注率は69%となっているが、更なる拡大に努める。

(2) 公共調達を通じたロボティクス産業の育成

※埼玉県は、鶴ヶ島市に令和8年度、SAITAMAロボティクスセンターを開設する予定で、ロボティクス産業（産業用ロボット、介護福祉・医療・配膳・接客・警備・建設・物流・

災害支援・農業・家事などのサービスロボット）の育成に力を入れています。

保谷質問

埼玉県への地理的集積を目指すためには、（SAITAMAロボティクスセンターというハコモノを作るのではなく）追加の仕掛けが必要だ。サービスロボットの新しい製品やそれらを用いた提案を積極的かつ優先的に公共調達することにより需要創出を図ってはどうか。

産業労働部長答弁

SAITAMAロボティクスセンターの施設整備・運営には大いにロボットを活用し、ショールームとするつもりだ。需要創出については研究する。



ファミレスでおなじみの配膳ロボット

地域ボランティア担い手不足解消のために敬意を醸成しよう

(1) 敬意の醸成について

保谷質問

町会・自治会・PTAの役員、消防団員、民生児童委員、保護司など、様々な地域ボランティアの担い手不足が深刻だ。どこの組織も、担い手後継者が見つからずに困っている。かつては尊敬を集める存在だったが、今日ではその存在は軽視されがちだ。県そして社会全体で、地域ボランティアへの敬意を取り戻すための意識改革を進めたい。現状、県の取り組みは。



蕨市総合防災訓練での蕨市消防団。全国的に消防団は定員割れが続いています。

副知事答弁

募集情報の広報、シラコバト賞など様々な表彰を行っている。

(2) イメージアップのための映像コンテンツ制作を

保谷質問

それだけでは不十分だ。

ところで、マスメディアによるアニメ、ドラマ、映画の影響力は大きい。「救命病棟24時」、「海猿」等、取り上げられた職業の志願者増に繋がった事例もある。地域ボランティアの仲間たちが、力を合わせて共通の敵と戦い、地域の危機を救うような熱いストーリーの映像コンテンツ制作を支援してはどうか。

副知事答弁

関連業界の意見も伺ってみたい。

保谷たけし プロフィール

- 昭和49年生まれ
- 筑波大学卒

- ネット業界にて、企画・マーケティング系の職人
(株)サイバーエージェント、(株)カクコムでは、会社を上場
平成16年、(株)ブレード・コミュニケーションズを創業して
モバイルコンテンツ配信等

- 平成23年～令和5年、蕨市議会議員(3期)
- 令和5年、県議会議員(蕨市)就任

保谷武 事務所

〒335-0004 埼玉県蕨市中央3-17-23 ゴールドハイツ蕨1F

☎ 048-229-8851 FAX 048-229-8852
office01@hoyatakeshi.com

埼玉県議会 自由民主党議員団控室

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

☎ 048-822-1960 FAX 048-824-6037

令和5年度一般会計補正予算（国の経済対策に伴う補正）

<令和5年度埼玉県一般会計補正予算(第6号)> 319億5,822万円

継続 防災・減災、国土強靱化の推進

◆ 国補正予算を活用した13か月予算(公共事業) 1,317億1,124万4千円

令和5年度 13か月予算 1,222億円 ▶ **1,317億円**

▶ 昨年度以上の事業費を確保 **+95億円 7.8%増**

- ▶ 道路・街路事業 755億円
- ▶ 河川事業 451億円
- ▶ 農業基盤整備・治山事業 90億円
- ▶ 公園・区画整理事業 21億円



◆ 県立学校施設の大規模改修 9億8,646万2千円

・令和6年度以降の工事計画の前倒し
特別支援学校の空調設備改修工事 4校



老朽化した空調を更新することで熱中症等の危険が低減
児童生徒の安全で快適な学習環境の確保

切れ目のない公共事業の実施により県民の安全・安心を実現

自由民主党議員団 松井ひろし 埼玉県議会議員 HIROSHI PRESS



平素より私の政治活動に対しまして、格別のご高配を賜り、衷心より感謝申し上げます。

新年度を迎え、朝霞市内でも初々しい制服姿の学生さんや大きなランドセルを背負う子どもたちを目にします。埼玉県は超少子高齢社会という大きな課題に直面しております。安心して妊娠・出産・子育てができる環境の整備を行い、未来に希望が持てる社会づくりに取り組んで参ります。今年度も引き続きのご指導、よろしくお願い致します。

地域の皆様にお集まりいただき、県政報告会を開催いたしました！



当日は年度末のお忙しいところ、多くの方にご参加いただきました。本年元旦に発生した石川県能登半島地震に対する、災害派遣に参加した埼玉県危機管理防災センターの職員さんからも、現地の様子や日頃の備えについてお話をいただきました。日常生活の中で、県政は遠く感じてしまうと思いますが、国から各市への補助金は埼玉県を経由することがあります。その補助金を県執行部が人口比や政策ごとに分けてから議会に提案し、最大会派の自由民主党県議団が中心となり審議（増減の訂正）し、議決されます。私自身の発信不足を何より反省しつつ、今後も埼玉県の現状、政策を定期的に発信します。



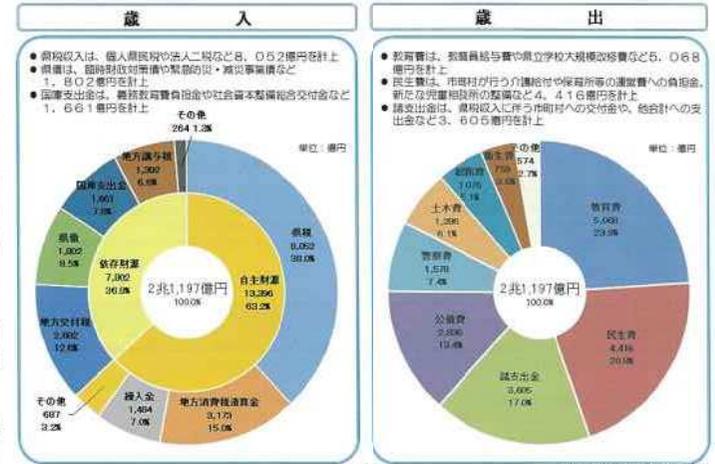
結果を出す政治

歴史的課題への挑戦

令和6年度一般会計 2兆1,197億4000万円を議決

【予算のポイント】

4年連続の2兆円越え
投資的経費は過去10年で最高の1,928億円を計上し、公共事業費も1,000億超を確保。埼玉県議会2月定例会では令和6年度一般会計予算2兆1,197億4000万円等を審議し、議決しました。私としては予算特別委員会の一員として、激甚化する自然災害に備える予算が確保できたことは嬉しく思います。埼玉県は今、「人口減少・超少子高齢化社会の到来」、「激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応」という2つの歴史的な課題に直面しています。また、社会の在り方が変化し、多種多様な価値観が広がる中で、10年後、20年後を見据えた未来志向の施策が、一層強く求められています。



- 今年度 所属委員会
- 企画財政委員会委員長
 - 経済・雇用対策特別委員会委員
 - 予算特別委員会委員



松井ひろし プロフィール

朝霞第七小・朝霞第二中出身。
高校卒業後 家業を継ぐために専門学校を卒業。
彩夏祭実行委員長を始め地域ボランティアに力を注ぐ。
地域の発展には政治の決断が必要と考え、2019年
埼玉県議会議員選挙に挑戦し初当選。現在2期目。
自由民主党朝霞支部長。災害対策に取り組む。
好きな食べ物「アジフライ定食」



松井ひろし 県政調査事務所

〒351-0011 朝霞市本町3-4-17
TEL:048-483-4256 FAX:048-483-4257
メール: info@matsuihiroshi.com

補正予算を議決

国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づく補正予算に対するもので、「防災・減災・国土強靱化のための公共事業の追加」、「経営発展を目指す農業者への支援」など、319億5,822万円について審議し、議決しました。別枠として、県税、地方税などの収入見込み額と執行見込み額の調整を行うための措置として、632億862万4000円を議決しました。最終的に令和5年度一般会計累計額は2兆2,281億4,449万1000円となりました。



課題に挑戦し、日本一暮らしやすい埼玉に向けた取り組み

①歴史的課題への挑戦（人口減少・超少子高齢社会への対応） 更なるDXの推進による県民サービスと生産性の向上

DXによる県民サービスの向上 2億6,360万8千円

- 全庁GIS(地理情報システム)搭載マップの拡大
 - GIS基盤に搭載するマップを拡充
 - R5 14マップ R6 68マップ
 - ユーザビリティを向上したポータルサイトの使いやすさを向上
- 全庁共通メタバース空間の整備
 - 県庁の様々な部門が利用できる共通のメタバース空間を整備し、相談、マッチング、応募場所、イベントなど幅広いサービスを提供
- 金収収納の更なるキャッシュレス化の推進
 - 窓口キャッシュレス決済が未導入の県道管理施設や保健所等に、新たにキャッシュレス環境を整備
- 電子出願システムの本格導入
 - 県庁の様々な部門が利用できる共通のメタバース空間を整備し、相談、マッチング、応募場所、イベントなど幅広いサービスを提供
 - 入学希望者の申請プロセスを
 - R5 モニタ2枚 ▶ 入学希望者数を確保する全校

拡充 県内中小企業のDX推進 6,622万9千円

- 「埼玉DX推進支援ネットワーク」の機能強化
 - 事業者のデジタル化のステージに応じたきめ細やかな支援
- タスク・トランスフォーメーション(TX)による行政の生産性向上 1億4,082万9千円
- TXの推進
 - デジタルで効率化するタスクと人が担う業務を仕分け、県民サービスと生産性の向上を実現するタスク・トランスフォーメーションを推進
- 生成AI、ノーコードツールの活用拡大
 - TXで重要なツールである生成AI、ノーコードツールを全ての職員が活用し、様々な業務の効率化を支援

①歴史的課題への挑戦（人口減少・超少子高齢社会への対応） あんしんしあわせたのしいこども支援の充実 ①

新規 こどもまんなか社会実現への取組 1,352万7千円

- 子供等からの子供施設に対する意見を聴取する仕組みを構築
- こども施設ポーター（仮称）制度を創設
- 意見聴取のシステムを構築

拡充 子育て家庭への経済的支援 37億6,910万4千円

- こども医療費助成制度の拡充
 - 補助対象年齢の拡大、所得制限の撤廃
 - 県の補助対象拡大により、各市町村の様々な子育て支援を確保し
- 保育人材の確保 1億 903万4千円
 - 潜在保育士の就職支援
 - 潜在保育士に向けたデジタル広告や一斉通知の実施
 - ワンストップで情報収集可能なポータルサイトの構築
 - 段階的に働き始めるための雇上り支援を積極的に行う
- 育児と仕事が両立できる社会の実現 1,857万5千円
 - 男性の家事・育児参加の促進
 - 男性の育児参加に積極的に取り組む企業の表彰・イベントの開催等
 - 企業の経営者・管理職向けセミナーの開催
 - 家事・育児のヒント集「共育ハンドブック（仮称）」の作成

新規 家族形成に向けた気運の醸成 1,438万9千円

- プロポーズツール等と連携した婚活イベントの開催
- SNS等を活用した結婚情報などに関する様々な情報発信

新規 困難を抱える妊産婦への支援 3,177万3千円

- 安心して生活できる場のない妊産婦を産科医療圏等で緊急一時受け入れ
- 母子生活支援施設で一時的な居所や出産後の生活相談等、安心して出産・生活できる場を提供
- 関係機関と連携して切れ目なく支援を実施
- 関係機関の直立交渉・危機対応を防止

新規 育児と仕事が両立できる社会の実現 1,857万5千円

- 男性の家事・育児参加の促進
- 男性の育児参加に積極的に取り組む企業の表彰・イベントの開催等
- 企業の経営者・管理職向けセミナーの開催
- 家事・育児のヒント集「共育ハンドブック（仮称）」の作成

②「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化 未来を創る子供たちの育成/人生100年を見据えたシニア活躍の推進

新規 多様なニーズに対応した教育の推進 2,465万9千円

- ICTを活用した遠隔教育の展開に向けた実証
 - 教員確保が困難な教科等の遠隔授業の実証
 - 大学による高校生向け遠隔授業の実証
- 農業高校生の収益力のある農業の学びの推進
 - ICTやデータ等を活用したスマート農業などを学ぶ環境の整備、カリキュラムの開発・実施
- 教育環境の充実 8億2,753万3千円
 - 普通教室の空調設備の公費負担
 - 保健体育棟で整備された空調設備
 - 補助費削減等の措置により実費公費化
 - 老朽化した空調設備を公費により順次更新
 - 外部人材の活用
 - 教員業務支援員の配置拡充 435名 ▶ 7.25枚
 - 副校長・教頭マネジメント支援員を新たに配置 31枚

拡充 生涯を通じた健康の確保 2億7,659万3千円

- 自殺対策の強化
 - 全県共通「こころの健康相談ダイヤル」の拡充
 - 県内相談体制（年中休 24時間）
 - 相談件数の多い時間帯の回線数を増強
 - SNS相談「こころのサポート埼玉」の拡充
 - LINE相談 週2日 ▶ 毎日実施
- シニアの活躍支援 4,586万5千円
 - 岩槻高齢者講習センターにおけるシニアを対象とした総合支援
 - 運動機能の測定や遠隔放映等の実施
 - 体験型講座を活用した交通安全教育の実施
 - 口腔機能ケアの重要性について普及啓発



令和5年度 埼玉県スポーツ賞 授与式

①歴史的課題への挑戦（人口減少・超少子高齢社会への対応） 持続可能なまちづくりと経済成長の実現 ①

新規 埼玉版スーパーシティプロジェクトの推進 12億 185万9千円

- プロジェクトを加速させる新たな市町村支援
 - 持続可能な地域の公共交通ネットワーク構築の取組への支援強化
 - 認知症高齢者グループホーム等の整備促進
 - 子どもの居場所に関係する施設を拡充した新たな子育て支援施設拠点の整備促進
 - 商店街の空き店舗活用促進
 - 空き家バンクを通じた空き家活用促進
- 市町村・企業等の交流機会拡大とマッチング強化
 - 官民連携を促進する交流会の拡充
 - 企業連携を募るイベントの拡充
 - プロジェクトに取り組む市町村の増加に対応し、企業等の参加しやすさにも配慮
- プロジェクトに取り組む市町村への補助
 - 事業化促進補助
 - 補助率 1/2、補助上限 500万円
 - 各市町村が事業化に向けた取組を行う
 - 事業推進補助
 - 補助率 1/2、補助上限 5,000万円
 - 各市町村が事業化に向けた取組を行う

①歴史的課題への挑戦（人口減少・超少子高齢社会への対応） あんしんしあわせたのしいこども支援の充実 ②

新規 こどもの居場所の確保・充実 6,853万8千円

- バーチャルユースセンター（仮称）の設置
 - メタバース空間にこども、若者の居場所を設置
 - 交流、体験、相談の場として構築・活用
 - ITリテラシー、体験、専門支援との連携
- 放課後児童クラブの待機児童対策の推進
 - 既存施設等を活用した児童の受け皿確保を行う市町村への補助
 - 児童・保護者に対する調査を実施し、待機児童対策に係る施策の検討に活用
- こどもの居場所を支える体制づくり
 - 地域ネットワークの立ち上げ促進
 - 地域のこどもの居場所支援団体の育成
 - 市町村がこどもの居場所支援団体と協働して、地域課題の解決を目指す子ども事業への補助

新規 児童虐待防止・社会的養育の充実 2億9,013万2千円

- 児童虐待防止の未然防止
 - 課題を抱える子育て家庭への包括的支援を行う市町村への補助
- 一時保護所の環境整備
 - 中央児童相談所一時保護所の建設に向けた設計等を実施
 - 令和9年度開始予定
 - 保護児童の意見の表明等を実施
- 児童養護施設等の運営体制の強化
 - 乳児院における医療機関との連携強化
 - 補助金の向上経費への補助
 - 児童養護施設等職員に対する教育補助
 - 新たに設置する児童支援センターによる包括的な支援を実施

②「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化 稼げる力の向上

新規 中小企業等の人手不足への支援 3億4,956万3千円

- 省力化に向けた取組への支援
 - 人手不足の課題の解決に資する機器等の導入に対する補助
 - 補助メニュー等策定のため検討委員会を設置
- 企業人材サポートデスク設置
 - さいたま市、川崎市と連携都市企業人材サポートデスクを開設
 - 専門の相談員が湖北企業からの人材確保の相談に対応
 - 多様な企業形態を支援、東北地域のマッチング機会を創出
- 外国人材の確保支援
 - ポータルサイトを開設し、外国人材向けに多言語で企業情報や埼玉県の魅力を発信

新規 世界を彩る「埼玉ビジネス」海外展開プロジェクト 1億3,043万3千円

- 「マーケティング」視点の海外向け商品改良の支援
- 商品改良や海外展示会出席への補助（補助率）1/2（補助上限）100万円
- 「海外マーケティング推進コンソーシアム」の運営
- 海外出展を検討する企業と商社、物流企業、支援機関等をつなぐ

新規 資金繰りへの支援 40億3,934万4千円

- 中小企業制度融資の総融資枠 3,600億円
- 引き寄せ型ゼロ口融資の取扱需要などに対応するため、融資枠を確保

新規 美里甘粕地区産業団地の整備 4億7,167万4千円

- 事業期間 令和6年度～令和9年度
- 総事業費 約18億円
- 施行面積 約7.5ha



令和5年度 埼玉県スポーツ賞 授与式

①歴史的課題への挑戦（人口減少・超少子高齢社会への対応） 持続可能なまちづくりと経済成長の実現 ②

新規 オープンイノベーションの創出 10億3,657万9千円

- 「波沢栄一起業家サロン（仮称）」の開設準備
 - 令和7年度開設予定
 - さいたま新都心エリアに集約する建設中の民間複合施設に設置
 - オープンイノベーション・スタートアップ創出支援のセミナー・プログラム等も先行実施
- 「SAITAMAロボティクスセンター（仮称）」の整備
 - 令和8年度開始予定
 - 拠点施設・実証フィールドの整備
 - 「埼玉ロボティクスネットワーク」の活動を促進して県内中小企業等のロボット産業参入を促進
 - 県内におけるロボット実証認定・アグリテック・フードテックを支援

新規 リーディングモデルの構築 4億1,011万4千円

- リーディングモデルの構築に向けた補助金の創設
 - 「サービスデザイン（仮称）創設」に基づく創設等の試行開始
 - 補助率 2/3（補助上限）2,000万円
 - 「食のサービスデザイン」に資する設備やシステムの導入等（補助率）2/3等（補助上限）2,000万円
 - 商業施設事業者による高度な再販強化設備の導入（補助率）2/3等（補助上限）2,000万円
 - 「サービスデザイン」を特化したスタートアップ企業ビジネスプランコンテストの開催
 - 「サービスデザイン」推進センター埼玉における支援の強化
 - 埼玉版SDGs官民連携プラットフォームを活用した企業等の交流や事業連携等の推進
- 埋立跡地を活用した資源循環モデルの整備
 - 環境整備センター埋立跡地において、サービスデザインの実現や地域協働を図る資源循環モデル・公園の検討等

②「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化 県民の暮らしの安心確保/介護・医療体制の充実

新規 犯罪捜査力の強化 4,702万2千円

- 情報通信機器の証拠収集と解析力を強化するための環境整備
 - 従来、証拠収集やデータ解析に要していた作業を効率化
 - 動きを伴う防犯カメラの画像をAIで解析していた捜査力を削減
- 働き方の柔軟化による蓄積力の向上 2億1,771万4千円
 - テレワークによる働き方改革の推進
 - 職員が能力を最大限発揮できる柔軟な勤務環境の拡充
 - 勤務時間の柔軟化や勤務形態の多様化により、働きやすさを向上させ、人材の確保・定着を促進
- 生活の安心支援 350万円
 - ビジネスケアラーの仕事と介護の両立支援
 - 地域包括支援センターへの早期相談などを促す動画の作成・周知

新規 人材の確保・定着対策の推進 8億3,121万5千円

- 医学生への奨学金貸付の拡充
 - 県内の医師不足地域等に勤務することを条件とする奨学金の新規貸付（地域枠）を拡大 7大学 45名 ▶ 8大学 47名
- ICT導入による看護業務効率化の支援
 - 県内病院ICT導入支援
 - モデル施設の好事例を模倣
- 地域医療体制の充実 3億3,123万3千円
 - 救急電話相談・救急搬送体制の強化
 - 救急電話相談（#7119）の体制強化
 - 救急医療情報システム（相互連携）の整備
 - がん患者のQOL向上
 - ウィッグ等のピアリングケア用品購入費用を助成する市町村を支援
 - AYA（がん治療期間中の生活支援）を推進する市町村を支援

②「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化 儲かる農林業の推進

新規 アグリテックによる栽培・生産技術の向上 9,276万円

- 施設園芸におけるデジタル化の推進
 - データ活用体制の構築
 - 生産者や企業等が構成する協議会を設置
 - IoTを活用した栽培データ等を収集・分析・共有、活用できるシステムの設計
- 県産いちごの生産体制の強化
 - 新技術を活用したいちごの栽培
 - 美らいちごの生産に必要な施設整備支援
 - 高品質のための選果機整備支援
- ワカサギ陸上養殖技術の開発
 - 水産研究所に陸上養殖施設を構築しワカサギの育成・採卵技術を開発

新規 農業の担い手育成 1億4,601万円

- 新規就農の促進
 - 明日の農業担い手育成のための選抜支援（機械導入・施設整備）
 - 農業法人の技術指導を受けながら、研修農場（研修施設等）を借り、施設整備等を行う
 - 農業法人等に就農支援の環境整備
 - 研修用圃場の環境整備支援（機械導入・施設整備）
 - 第三者経営継承の支援（お礼、研修等に対する補助）
 - 女性が働きやすい環境整備の支援（トイレ、更衣室、機械等）



令和5年度 埼玉県スポーツ賞 授与式

自由民主党議員団
埼玉県議会議員

松井ひろし

HIROSHI PRESS



平素より私の政治活動に対しまして、格別のご高配を賜り、衷心より感謝申し上げます。

パリオリンピック・パラリンピックでのアスリートたちの活躍は、国民に勇気と希望を与えてくれます！すべてのアスリートにとって最高の大会になることを期待しています。

地元では、彩夏祭をはじめ各地域の夏祭り等で、たくさんの笑顔が見受けられます。開催にあたり、ご協力いただく皆様に敬意を表しますと共に、まちづくりに携わる1人として、地域に笑顔が増えるように取組んで参ります。猛暑と急な豪雨が続けておりますが、体調管理に充分ご留意いただければ幸いです。

引き続きのご指導、よろしくお願い致します。

埼玉県に縁があるオリンピック・パラリンピックアスリートを



応援しよう!



埼玉から世界へパリ 2024

本会議にて執行部に質問！

県民生活の向上へ

今年度は企画財政委員会の委員長に就任し、埼玉県全体の財政を管理する大役を仰せつかっております。また先般の定例議会では大野元裕知事をはじめ、執行部に対しまして7項目について、過去の質問からの進捗確認、課題確認、新たな提言を行いました。一部になりますが、記載させていただきます。



(1) 共生社会の実現について

若者からシニア層まで、医療や福祉における社会課題の解決につながるeスポーツの普及促進に向けて、今後どのように地域の賑わいを創出し埼玉県を盛り上げていくか確認しました。

答弁：昨年度は、3万人以上の方々がeスポーツに触れました。今後も県が旗振り役となり、民間の自主的な取組みを促し、県内各地でのeスポーツによる地域のにぎわいが創出されるよう盛り上げます。

(2) 障がい者スポーツの振興について

前回、私からの質問に対して以下の3点を重視すると答弁がありましたので、成果を確認しました。重視する3点

①楽しむ機会を作る②地域で始められるきっかけを作る③必要な支援を担う人材を育成する
1年経っての成果はどうか？また、今後、障がい者アスリートに対し、どのように支援をしていくか確認しました。

答弁：前年より参加者が530名増え、パラスポーツの体験会や教室を運営する10団体を支援し、約1800名の県民が参加しました。また、パラスポーツ指導員養成講習会を開催し、昨年度は30名が参加しました。

アスリートに対する支援は、強化指定選手としてデフアスリートを含む20名を認定し、トレーナー、栄養士などからの個別サポートや大会遠征費等の支援を行っております。

(3)地域クラブ活動の現状と課題について

埼玉県では令和6年3月に「埼玉県地域クラブ活動推進計画」を策定し、市町村やスポーツ団体に広く周知することで、地域クラブ活動を推進していると聞いています。令和5年度には県内6市が、今年度は新たに4市町を加え、合計10の市町が実証事業を実施していますが、令和5年度の実証事業での成果と課題はどうなっているか確認しました。

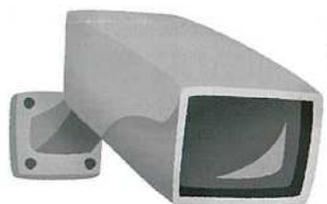


答弁：県内6市が国の事業を活用し、満足度調査を行った3市においては、90%以上が「満足している」と回答があった一方、指導者や活動場所の確保が課題となると報告がありました。対策として、退職者を含めた教員の活用は重要と考えており、令和6年3月に指導経験が豊富な退職教員を登録する人材バンクを設置しました。また、現職教員の活用事例について、広く周知するなどして、市町村の指導者確保を積極的に支援します。

(4)住宅密集地の改善について

住宅の密集地は、敷地・道路が狭く、公園などの公共施設の整備が不十分である特徴があり、今年1月に発生した能登半島地震では、輪島市の古い木造家屋などが密集する地域で大規模な火災が発生し、200棟以上の住宅や店舗が焼け、おおよそ5万平方メートルが消失しています。災害防災対策から住宅密集地の特定や改善計画作成の進捗状況と、今後の支援について確認しました。

答弁：市町村に対し市街地の延焼危険性の指標となる不燃領域率などのデータを提供し、取組みを働きかけています。改善計画の策定に向けては、市町(しまち)自らが効果的な取組みを選択できるように、県が主導して市町(しまち)職員のスキルアップを支援します。



(5)防犯カメラの設置促進に向けた県の支援について

埼玉県では、犯罪件数が18年ぶりの増加に転じ、全国ワースト3位となりました。防犯カメラの設置は、地域全体の安全性を一層高めると考えていますが、市町村における防犯カメラの設置促進に向けた県の支援について確認しました。

答弁：防犯カメラの設置は、犯罪の抑止、検挙の両面で、効果があるものと考えております。県では、「令和6年度までに市町村設置の防犯カメラを1万台」とする目標を掲げ、公共空間への防犯カメラの設置を推進しております。市町村の財政力によって差が生じることがないように、補助金を交付し、市町村の防犯カメラの設置を支援しております。令和5年10月末に9,914台となり、目標の1万台までもう少しのところまできております。一方、コロナの5類移行後、刑法犯認知件数は増加傾向にあり、世論調査によれば県民の体感治安も改善していない状況にあります。犯罪の発生状況を鑑み、令和7年度からの次期計画策定の中でしっかりと対応します。

引き続き、皆様からのご意見、ご要望をお待ちしておりますので、お気軽に県政事務所までご相談ください。



シエイクアウト埼玉

県内一斉防災訓練

実施期間 令和6年8月30日(金)～9月5日(木)

防災週間: 関東大震災(大正12年9月1日)が発生した9月1日を含む
8月30日～9月5日の期間

実施場所 あなたがいるその場所で

参加者募集!



3つの安全行動を
その場で行うだけ!
1分程度で終了

- シエイクアウト訓練のあとは **プラスワン**
- 災害用伝言ダイヤル(171)の体験利用
 - マイ・タイムラインの作成
 - ハザードマップの確認
 - 避難場所の確認
 - 避難経路の確認
 - 備蓄品の確認 など



主催 埼玉県議会 詳細は埼玉県議会ホームページをご覧ください
<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-shakeout/index.html>



バーベキュー意見交換会を開催します!

バーベキュー意見交換会

日にち 10月20日(日)11時～14時

場所 朝霞の森

参加費 大人2,000円 中高生1,000円 小学生以下500円

連絡先: 048-483-4256

材料の準備があるので、参加希望の方は**9月30日**までにお申込をお願いします。



今年度 所属委員会

- 企画財政委員会委員長
- 経済・雇用対策特別委員会委員
- 予算特別委員会委員



松井ひろしプロフィール

朝霞第七小・朝霞第二中出身。
高校卒業後 家業を継ぐために専門学校を卒業。
彩夏祭実行委員長を始め地域ボランティアに力を注ぐ。
地域の発展には政治の決断が必要と考え、2019年
埼玉県議会議員選挙に挑戦し初当選。現在2期目。
自由民主党朝霞支部長。災害対策に取り組む。
好きな食べ物「アジフライ定食」



松井ひろし
Instagram

発行:埼玉県議会自由民主党議員団

松井ひろし県政調査事務所

〒351-0011 朝霞市本町3-4-17
TEL:048-483-4256 FAX:048-483-4257
メール: info@matsuihiroshi.com

自由民主党議員団
埼玉県議会議員

松井ひろし

HIROSHI PRESS

平素より私の政治活動に対しまして、格別のご高配を賜り、衷心より感謝申し上げます。

先般の衆議院総選挙では、同志であります穂坂泰氏が当選を果たすことができました。選挙中もさまざまな地域課題を頂いております。

私の政治テーマ「課題に全力！未来に希望が持てる社会」の実現に向けて日々、精進してまいります。

朝晩の寒さが厳しくなりましたので、体調管理に充分ご留意いただければ幸いです。



自民党が提案！

埼玉県子ども・若者基本条例が可決

9月定例議会では知事提出議案36件を可決・同意し、議員提出議案11件が可決されました。その1つ「埼玉県子ども・若者基本条例」は多くの子ども・若者・識者からの意見を踏まえて、自民党県議団が提出し、全会一致で可決することができました。全ての子どもと若者の基本的人権を保障することを基本理念として、人種や国籍、性別、障がいの有無などによる差別的な扱いをなくし、意見を表明する機会を確保することなどを掲げております。また、子育ての責任を保護者に限定せず、自治体や学校、保育施設、事業者、民間支援団体、県民などの社会全体が「子育て・子育てに主体的に取り組む」としております。子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりや、平等に学べる機会の提供、保護者らへの切れ目のない支援が必要だと考えております。



県立特別支援学校に通学する医療的ケア児の通学支援の充実 ／新生児マススクリーニング検査の対象拡大

通学支援の充実による医療的ケア児の保護者の
経済的負担の軽減 7,153万3千円

新生児マススクリーニング検査に関する実証 1億4,138万5千円

概要

医療的ケア児の福祉タクシー等による通学に同乗する看護師費用の支援に要する経費を増額する



事業イメージ



効果 医療的ケア児の保護者負担の軽減

概要（国の実証事業への参加）

*さいたま市を除く県内すべての分娩取扱機関で出生した新生児

2疾患を追加した検査の対象を**全新生児***に拡大する

対象疾患

重症複合免疫不全症(SCID)

出生直後から重篤な感染症を繰り返す疾患

脊髄性筋萎縮症(SMA)

筋力低下、歩行障害等をきたす遺伝子疾患

実施機関数 25 ⇒ 86機関(さいたま市を除く県内分娩取扱機関)



検査体制



早期診断・早期治療へ

その他、埼玉県児童相談所設置条例の一部を改正する条例（新設される朝霞児童相談所）、県立特別支援学校に通学する医療的ケア児の通学支援の充実・新生児マスキング検査の対象拡大を含む補正予算50億1,156万2千円を慎重審議の上、可決させていただきました。

多発する強盗事件への対策や物価高への経済対策など、多くの課題が山積しておりますが、皆様の声を県政に反映させられるのは、政府とも大野元裕知事とも太いパイプがある自民党県議団だと確信しておりますので、引き続きのご指導、よろしくお願い致します。

埼玉県児童相談所設置条例の一部を改正する条例

児童相談所の新設（令和7年4月開所）

- 名称 朝霞児童相談所
※一時保護所付設（5月頃児童受入れ開始予定）
- 位置 朝霞市青葉台1-2-16
（旧あさか向陽園グラウンド）
- 所管区域 朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町（6市1町）



※各室の写真は
熊谷児相
（一時保護所）

児童の部屋（個室）



学習室



所管区域の変更

- 日高市を川越児童相談所から所沢児童相談所へ変更

児童相談所	所管区域（改正後）
朝霞児童相談所 （6市1町）	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、 ふじみ野市、三芳町
川越児童相談所 （4市9町1村）	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、 越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、 吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村
所沢児童相談所 （5市）	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市

※赤字が変更となる市町村

期待される効果

- 所管人口の平準化による児童虐待対応の迅速化

児童相談所	所管人口（改正前）	所管人口（改正後）
朝霞児童相談所	—	73.0万人
川越児童相談所	111.2万人	79.4万人
所沢児童相談所	118.4万人	77.2万人

※国の方針では児童相談所の所管人口は100万人以下が目安

- 一時保護体制の充実

- ・県設置一時保護所定員150人→180人
- ・学齢児童の居室の個室化、年齢等に応じた学習室の設置

皆さんに知ってほしいこと！

ねんりんピック(全国健康福祉祭)をご存知ですか？これは、60歳以上のシニアを中心としたスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典です。スポーツや文化種目の交流大会のほか、文化イベントや子どもフェスティバルなども開催され、あらゆる世代が楽しみ、交流できる場となっています。今年は鳥取県で開催され、参加者の熱気で会場も大変盛り上がったと聞いています。そして、今年からeスポーツも正式に採用されました！若者からシニア層まで幅広い層が体験できるスポーツです。次回ねんりんピックは、2026年11月7日から11月10日まで埼玉県で開催されます。ぜひ注目してください！！



今年度 所属委員会

- 企画財政委員会委員長
- 経済・雇用対策特別委員会委員
- 予算特別委員会委員

松井ひろしプロフィール

朝霞第七小・朝霞第二中出身。
高校卒業後 家業を継ぐために専門学校を卒業。
彩夏祭実行委員長を始め地域ボランティアに力を注ぐ。
地域の発展には政治の決断が必要と考え、2019年
埼玉県議会議員選挙に挑戦し初当選。現在2期目。
自由民主党朝霞支部長。災害対策に取り組む。
好きな食べ物「アジフライ定食」



松井ひろし
Instagram

発行：埼玉県議会自由民主党議員団

松井ひろし県政調査事務所

〒351-0011 朝霞市本町3-4-17
TEL:048-483-4256 FAX:048-483-4257
メール：info@matsuihiroshi.com

自由民主党議員団
埼玉県議会議員

松井ひろし

HIROSHI PRESS



2025.1

皆様方に於かれましては、新年を健やかに迎えのことに、お喜び申し上げます。

新年度予算審議に向けて、朝霞市内及び県内の諸課題をまとめております。行政による前年踏襲も大切ですが、時代の変化に対応したアップデートも不可欠です。物価高騰で厳しい経済状況が続いておりますが、市民の皆様とワンチームで改革に取り組んでまいります。「課題に全力！未来に希望が持てる社会」の実現に向けて、引き続きのご指導、よろしくお願いいたします。厳しい寒が続いておりますので、体調管理に充分ご留意いただければ幸いです。

地域の声を届ける！

埼玉県・朝霞市をアップデート

前厚生労働省労働局長で朝霞市をもっと良くする新団体「ワンチームあさか」の小野寺のりこ氏と、大野元裕知事のもとへ伺ってきました。小野寺のりこ氏は埼玉労働局職業安定部長、障害者雇用対策課長等を歴任し、行政経験がとても豊富な方です。朝霞市がアップデートできるように一緒に活動しております。小野寺氏のご自身の経験から、福祉・労働行政について意見を伝え、大野知事からは政策ごとの課題や地域ごとの課題についてご指導をいただきました。福祉政策の策定・仕組みづくりは国主導で行われますが、政策を実施するのは市町村の判断になることが多い為、地域に届いていない政策が多くあります。「市民・市・県・国」がワンチームで動くことで、市民サービス向上に直結すると考えております。政策が実現できる朝霞市に向けて、皆様からのご意見をお待ちしております。



小野寺のりこ公式 HP



先般、障害者支援施設「あさか向陽園」内にある障害者歯科診療所の視察を行いました。こちらの歯科診療所は埼玉県が運営しており、利用者は多く、市内外からの需要が高まっている重要な障害者歯科診療所です。しかし視察した際の第一印象は「これは、いくらなんでも…」とってしまうほど狭く、老朽化も進んでおりました。従事されている先生からご意見を伺いましたが、早急な対応が必要だと強く感じた次第です。自民党県議団で課題を共有し、応急的ではございますが県へ提起した結果、診療所スペースを拡充することが決定しました。我々は自由に歯科医院を選ぶことができますが、障害のある方は設備の都合で限られた診療所しか通院できません。だれも取り残されない社会づくりが必要です。



松井ひろし県政報告会を開催

日時: 令和7年2月1日(土)
午後3時より(2時30分受付開始)

場所: コミュニティセンター
3階ホール (住所: 朝霞市青葉台1-7-1)

会費: 無料

お問い合わせ先: 松井ひろし事務所

電話: 048-483-4256

E-mail:

info@matsuihiroshi.com



QRコード申込み

新しいポスターが完成しました!

「課題に全力!未来に希望が持てる社会づくり」
を目指し活動していきます。

ご自宅・駐車場のフェンス等で、
ポスターを設置できる場所が
ございましたら、ご紹介いただき
たく、お願い申し上げます。

※壁を汚さずに設置可能です。
※下記連絡先までお電話又は
メールで「ポスター設置につ
いて」とご連絡ください。



皆さんに知ってほしいコト!



全国植樹祭をご存知ですか? 全国植樹祭は、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催により開催する国土緑化運動の中心的行事です。昭和25年に山梨県甲府市で開催されて以来、各都道府県において毎年春季に開催されています。

これまでの大会では、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、県内外からの多くの参加者と共に、式典行事や記念植樹が行われています。埼玉県では、昭和34年第10回以来66年ぶりとなる第75回全国植樹祭を本年5月25日に開催します。是非、注目してみてください!



一般会計補正予算(第3号)

一般会計 歳入歳出予算 **9,5,707万3千円**
(補正後累計 2兆1,294億8,795万2千円)
繰越明許費 186億3,447万5千円
債務負担行為 限度額 258億9,091万6千円

主な内容

- 防災拠点校の体育館における避難者の生活環境の改善
(・債務負担行為の設定 限度額 5,539万円)
- 公共事業等の施工時期の平準化・適正工期の確保
(・債務負担行為の設定 限度額 258億3,552万6千円
・繰越明許費の設定 186億3,447万5千円)
- 県有施設等における光熱費高騰への対応 9億5,707万3千円

防災拠点校の体育館における避難者の生活環境の改善

防災拠点校への空調設備設置の前倒し<債務負担行為の設定 限度額 5,539万円>

概要

長期的避難生活においても、熱中症等の危険性がない安心・安全な環境を確保するため、**防災拠点校*10校**の体育館の空調設備設計を前倒し、早期に着手する。

体育館空調設置イメージ



設置計画

防災拠点校36校の空調設置スケジュール(予定) ※R7本設案会決定の拠点校10校を指す

区分	R5	R6	R7	R8以降
当初計画	設計 7	7	7	22
工事	7	7	7	22
前倒し	設計 7	7+10	12	12
工事	7	7+10	12	

効果

令和7年度末までに防災拠点校10校の体育館へ空調設備を設置
災害時における避難所としての生活環境を改善



今年度 所属委員会

- 企画財政委員会委員長
- 経済・雇用対策特別委員会委員
- 予算特別委員会委員

松井ひろしプロフィール

朝霞第七小・朝霞第二中出身。
高校卒業後 家業を継ぐために専門学校を卒業。
彩夏祭実行委員長を始め地域ボランティアに力を注ぐ。
地域の発展には政治の決断が必要と考え、2019年
埼玉県議会議員選挙に挑戦し初当選。現在2期目。
自由民主党朝霞支部長。災害対策に取り組む。
好きな食べ物「アジフライ定食」



松井ひろし
Instagram

発行: 埼玉県議会自由民主党議員団

松井ひろし県政調査事務所

〒351-0011 朝霞市本町3-4-17
TEL: 048-483-4256 FAX: 048-483-4257
メール: info@matsuihiroshi.com